

TOYAMA VICTIM SUPPORT CENTER



公益社団法人

とやま被害者支援センターだより

2015. 8.31 発行 第19号



岡田繁憲「小菊」

目

次

巻頭言（理事長 四十物 直之）…………… 1
支援募金・寄付 …………… 2

平成27年度 通常総会・理事会開催報告 …… 3～5
活動報告・今後の日程 …………… 5・6

とやま被害者支援センター理事長就任にあたって

とやま被害者支援センター理事長

あ い も の な お ゆ き
四十物 直之



暑さ極まる候、極まればあとはゆるむばかりと秋を待ち望むこのごろです。皆様には益々で清祥のこととお慶び申し上げます。このたび翠田前理事長の後を受け、公益社団法人とやま被害者支援センターの理事長を務めさせていただくことになりました四十物でございます。皆様方のお力添えを賜り、微力ながら全力を尽くしてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

平素より皆様方には被害者支援活動に対し、多大なご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて今の日本は義務を果たさず己の権利ばかり主張し、自分さえ良ければと他人のことはお構いなし、経済一辺倒でお金さえあればという風潮がまかりとおり、心が痛むばかりです。一昔前は隣近所親近感があふれ、何か今よりは精神的に豊かだったように思うのは私だけでしょうか。

近年になって、犯罪被害者の方々を支援する法律や制度が徐々に整備されつつありますが、まだまだ権利が十分に尊重されているとは思えません。

最近では神戸児童殺傷事件の「元少年A」の手記が発売され問題になっています。出版の自由や表現の自由との間で取り扱いの難しさを問う声の中「自由といっても、何をしてもいい事はないはずで、被害者や遺族の人権は侵害されています。加害者の出版の自由を守るのではなく、被害者の人権を守って欲しい」とお父さんが訴えていらっしゃることをもっと取り上げて頂きたいと思います。

昨年から今年にかけて、死傷者多数にわたる北陸自動車道小矢部サービスエリア高速バス事故などの全国的に見て極めて社会的反響の大きい事故が発生しているほか、県内在住の方が他県において凶悪事件の被害に遭うなど、日々、被害者支援の重要性や関係機関が果たすべき役割等を考えさせられる次第であります。

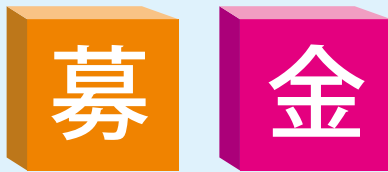
被害者支援センターの社会的使命は、不幸にして突然、犯罪や交通事故の被害に遭われ、後々も継続的な支援を必要とされる多くの被害者やご遺族の方々に支援活動を行うことにあります。

当支援センターは、今後とも関係機関等と密接な連携を図りながら、犯罪被害者等の方々の視点に立った、きめ細やかな支援を実施するため、関係者一同、一生懸命取り組んでまいりたいと思っております。

皆様におかれましては、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



犯罪被害者支援



犯罪被害者支援のため、各市町村、警察署、事業所等いろいろな場所に募金箱を設置させていただいています。

新たに設置に協力いただける事業所等がありましたら、ぜひ当センターまでご連絡下さい。

7月に募金を回収したところ、計101,162円のご厚意が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

募金箱設置箇所



寄付

富山市大泉地内の殺人・放火事件捜査に協力する会様、高岡地区外国人安全対策協議会(北村耕一郎会長)様などから寄付金が寄せられました。犯罪被害者やその家族等の支援金等に活用させていただきます。

平成27年度定時総会及び第2回理事会の開催

6月20日(土)、パレブラン高志会館において平成27年度定時総会及び第2回理事会が開催され、平成26年度事業報告と収支決算が承認されたほか、理事・監事の改選、理事長等の選出等が行われました。



事業報告 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

1 犯罪被害者支援活動

区分\年度	H26年度	H25年度	前年度対比
相談活動	331件	206件	125件 (60.7%)
直接的支援活動	207回	228回	-21回 (-9.2%)
自助グループ支援	11回	5回	6回 (120%)

- 相談活動331件の内訳は、電話相談296件、面接による相談35件です。
- 平成26年度から本実施に移行した無料法律相談は、4回実施しました。
- 自助グループの支援活動は、平成25年度の隔月開催から、広く門戸を開放するとして毎月開催に戻しました。

2 広報啓発活動

活動区分\年度	H26年度	H25年度	前年度対比
広報活動	34回	21回	13回(61.9%)
啓発活動	39回	65回	-26回(-40.0%)
計	73回	86回	-13回(-15.1%)

- **センターだよりの発行**
4月(15号)、8月(16号)、12月(17号)の3回、各3,800部を発行しました。
- **主要行事**
犯罪被害者週間行事の一環として、11月30日(日)、ボルファートとやまにおいて、
第1部 命の大切さを学ぶ教室講師に対する全国被害者支援ネットワーク理事長
感謝状の伝達及び命の大切さを学ぶ教室作文コンクールの表彰式
第2部 講師 少年犯罪被害当事者の会代表 武 るり子氏の講演
第3部 女声合唱団「あんてぶりま」のコンサート
を内容とする「講演会&コンサート」を開催しました。(参加者約400人)
- **街頭活動**
11月25日、富山県警察、富山県被害者支援連絡協議会と協働してJR富山駅及びJR高岡駅前でチラシ等を配布しました。
- **とやま被害者支援センターの周知**
JR富山駅前地下通路にポスター掲出、地鉄・加越能バス後部ラッピング広告及び富山市電側面広告、富山県HPのバナー広告(9月1日～3月31日)による県民への周知を図りました。

3

支援活動員のスキルアップ

(1) 継続研修

区分\年度	H26年度	H25年度	前年度対比
実施回数	17回	15回	2回(13.3%)
延べ受講者数	208人	217人	-9人(-4.1%)

- 当センターの大久保理事をはじめ、弁護士、臨床心理士、検察官等を講師として招聘し、各種研修活動に積極的に取り組みました。

(2) 外部研修

区分\年度	H26年度	H25年度	前年度対比
参加回数	14回	11回	3回(27.3%)
延べ受講者数	39人	52人	-13人(-25.0%)

- 全国被害者支援ネットワークや内閣府が主催の研修や会議に積極的に参加しました。

- 東海・北陸ブロックの質の向上研修は、前年度は富山県で開催されたが、平成26年度は静岡県で開催されたため、受講者が減少しました。

4

財政基盤の強化

(1) 賛助会員

賛助会員\年度	H26年度	H25年度	前年度対比
企業・団体	209	235	-26(-11.1%)
警察職員	2,217	2,211	6(0.3%)
その他個人	253	274	-21(-7.7%)
計	2,679	2,720	-41(-1.5%)

○ 新規の賛助会員募集以上に賛助会費未納の継続会員が増加し、全体として減少しました。

(2) 支援募金箱

区分\年度	H26年度	H25年度	前年度対比
募金箱設置数	69個	69個	±0個 (±0%)
募金総額	76,097円	170,729円	-94,632円(-55.4%)

(3) 支援自販機

区分\年度	H26年度	H25年度	前年度対比
設置台数	29台	29台	±0台 (±0%)
金額	312,143円	373,733円	-61,590円(-16.5%)

(4) その他

県民から不要となった本の寄贈を受け、その売却代金を寄付金として受領するホンデリング活動で総額21,882円の収益がありました。

8月3日の警察音楽隊演奏会、11月30日の「講演会&コンサート」、警察本部機動隊等からの寄付などで総額117,068円の募金収入がありました。

5

関係機関との連携

(1) 富山県警察と共催している「命の大切さを学ぶ教室」へ、2名の講師を12回(受講者累計1,837人)にわたり派遣したほか、多くの活動で連携しました。

(2) ネットワーク組織、富山地方検察庁、富山県弁護士会、法テラス、富山県女性相談センター等の関係機関との連携を深め、講師派遣、意見交換会、交流会参加等を推進しました。

収支決算 (単位=円)

科 目		平成26年度	平成25年度	増 減
経常収益	会費	7,968,000	8,426,000	△458,000
	補助金等	9,360,000	8,450,000	910,000
	寄付金	646,604	614,062	32,542
	雑収入	2,634	19,339	△16,705
	経常収益計	17,977,238	17,509,401	467,837
経常費用	事業費	14,673,656	14,875,437	△201,781
	活動調査費	3,552,275	3,969,334	△417,059
	相談員養成費	4,623,856	4,299,529	324,327
	広報啓発費	6,497,525	6,606,574	△109,049
	管理費	3,151,541	4,285,514	△1,133,973
	経常費用計	17,825,197	19,160,951	△1,335,754
当期経常増減額		152,041	△1,651,550	1,803,591

理事・監事の改選(任期2年間)

役 職	氏 名	備 考	役 職	氏 名	備 考
理事長	四十物 直 之	重任	理事	高 野 二 朗	就任
副理事長	牧 田 和 樹	重任	理事	豊 本 治	重任
専務理事兼事務局長	久 保 伸 男	重任	理事	深 水 信 行	就任
理事	伊 東 潤一郎	就任	理事	本 田 徹	重任
理事	大久保 恵美子	重任	理事	密 田 博 子	就任
理事	佐 竹 紳一郎	重任	監事	土 開 由 香	重任
理事	三 條 孝 順	重任	監事	中 村 厚	重任

注 翠田 章男理事長、土肥 由美子理事、小路 泰彦理事は、任期満了に伴い退任されました。

表 彰

永年の犯罪被害者支援の累積功績で、高野佳子、堀田幸子、高松邦子、小林春江及び前美恵子の5名が理事長から表彰状が授与されました。

活 動 報 告 (平成27年5月～8月)

研 修 会

●継続研修

- ・6月19日 支援技術「電話相談・ロールプレイ」
講師：高野佳子（当センター支援活動責任者）
- ・7月14日 被害者遺族の声を聴く
講師：小林美恵子氏（傷害致死事件被害者遺族）
「息子を殺されて」

犯罪被害者遺族の切実な声を聞けて大変有意義だった。特に、事件後から続く体調の悪化、非業の死を遂げたわが子を助けられなかった辛さが、現在も小林さんを苦しめていることがよく理解できた。直接的支援に携わった際、そのような精神的苦痛をどうしたら和らげてあげられるのか、私にとって今後の課題であると感じた。また、小林さんのように、入院に付き添うことで家族が経済的困窮に陥るという指摘にどう応えてあげられるのか。被害者支援制度の充実の必要性を痛感した。

(S・K)



●事例検討会 スーパーバイザー：大久保恵美子先生

- ・6月4日 (NPO全国被害者支援ネットワーク顧問・当センター理事)
- ・7月2日



講演活動 「命の大切さを学ぶ教室」

- ・7月1日 藤ノ木中学校
- ・7月7日 呉羽高校

広報活動

- ・5月20日 平成27年度被害者支援員研修会（警察本部）
- ・6月 2日 第3回人身安全関連事案対応に関する意見交換会（警察本部）
- ・7月 3日 平成27年度富山県被害者支援連絡協議会（県民会館）
- ・7月16日 滑川被害者支援ネットワーク総会（滑川警察署）
- ・8月 2日 おまわりさんの演奏とドリルの祭典（オーバードホール）



- ・富山駅南地下道にとやま被害者支援センターのポスターが掲示されました。

自助グループ支援活動

- ・4月21日
- ・5月22日
- ・6月23日
- ・7月24日



今後の予定

講演会 & コンサート

と き 11月28日（土）13：30～16：00

ところ 高志会館ホール

- 第1部 ● 命の大切さを学ぶ教室作文コンクール表彰式
- 第2部 ● 講 演
講師 秋田看護福祉大学教授 山内 久子氏（殺人事件被害者遺族）
演題 「花はつぼみのままで ～犯罪被害者遺族の心情～」
- 第3部 ● コンサート
演奏 伊藤敏博氏

入場は無料です。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

新しいボランティアの採用

ボランティア養成講座を実施して2名の方を新しくボランティアとして採用いたしました。豊富な経験を生かして、犯罪被害者の支援のために力を貸していただきたいと思います。

少しでも人の役に立ちたい一心で、活動の仲間入りをさせて頂きました。知るほどに、繊細な気配りや被害者への思いやり等奥の深い活動だと分かり、気の引き締まる思いでいっぱいです。微力ではありますが精一杯頑張りたいと思います。
(S・H)

翠田前理事長に感謝状の贈呈等

6月20日の総会において前理事長 翠田章男氏が当センターの名誉会員に承認されるとともに、7月27日に犯罪被害者等支援活動の功労により警察本部警務部長から感謝状を贈呈されました。



あなたの優しさを待っています…

私たちの活動は、皆様からの会費・ご寄付等に支えられています。当センターの支援活動は全て無料で行われます。そのためには経費が必要になります。
皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いします。

賛助会員・ご寄付のお願い

● 賛助会員とは

当センターの目的に賛同し、事業を財政面で支援する法人・団体または個人です。

● 年会費

◎法人・団体会員 1口 10,000円

◎個人会員 1口 2,000円

(口数に制限はありません)

● ご入金の方法

◎当センター発行の「払込取扱票」にご記入の上、お近くの郵便局でご入金願います。

「払込取扱票」については、事務局(076-413-7820)にお問い合わせください。

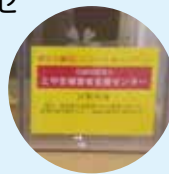
◎また、銀行振込みの場合は、**北陸銀行北電ビル出張所(普)5025520**
公益社団法人とやま被害者支援センター にお願います。

ホンデリングにご協力を

ホンデリングという寄付をご存じでしょうか。皆様から読み終えた本などをご寄贈いただき、その売却代金をとやま被害者支援センターへのご寄付として頂戴し、センターの活動に役立てるというプロジェクトです。読み終えた本やCD・DVD・ゲームソフトなどがあれば、当センターにお持ちくださるか、ご連絡いただければ引き取りに伺います。皆様のご協力をお願いいたします。

イオン黄色いレシートキャンペーンにご協力を

毎月11日にイオン高岡南店でお買い物され、黄色のレシートを店内に設置された投函コーナーにある当センターのボックスに入れていただきますと、レシート合計金額の1%相当額の物品がイオンリテール様から当センターに寄贈されます。これを支援活動等の事務用品類などに有効活用させていただきますので、皆様のご協力をお願いします。



おかだ しげのり 岡田繁憲氏

1950年 富山県南砺市(福野町)に生まれる
1976年 文化勲章受章者の故奥田元宋氏に師事 日展初入選
1985年 日展特選 日展会友
1989年 セントラル日本画大賞展に招待出品
1990年 日展特選 文化庁現代美術選抜展出品 とやま賞受賞
1991・1994年 「森の譜」・「緑陰譜」内閣官邸借上
1996年 富山県民会館美術館にて個展
2001年 北日本美術大賞展にて特別賞受賞
2002年 となみ野展にて部門賞受賞 「森の鳥」新首相官邸借上
2003年 日展審査員
2004年 日展会員 となみ野展にて部門賞受賞
2007年 高岡市美術館にて「日本画の最前線」展
2010年 南砺市福光美術館
「岡田繁憲日展出品32作品と遊虎・紫音親子3人展」
2011年 日展審査員
現在 日展会員 日春会会員 富山県美術連合会常任理事
富山県日本画家連盟相談役 南砺日本画連盟会長 他

編集後記

田んぼの稲が風にそよいでいる光景を見て、太陽の光、水の潤いの大切さを今思っています。

被害者支援にも、太陽の光のような支援の心の温もりと被害者ご遺族の方々が求められる水のような潤いが大切です。2年目の夏を迎えて、皆様からの様々な形でのご支援やご協力に感謝し、必要とされる支援に伝えられるよう更なる努力をしていく必要を痛感しています。

田んぼの稲が少しずつ上へ上へと成長していくように、被害者やその家族の方々が少しずつ前へと歩んで行かれますように…。

公益社団法人

とやま被害者支援センターだより 第19号

平成27年8月31日発行

発行／富山県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人とやま被害者支援センター

責任者／事務局長 久保 伸男

事務局／〒930-0858 富山市牛島町5番7号

TEL：076-413-7820 FAX：076-471-7825

E-mail／jimukyoku@toyama-shien.com

ホームページ／http://www.toyama-shien.com

